

16 吉備高原面と現河川の谷地形

写真



解説

緩い起伏をなす古い吉備高原面を現在の河川が浸食している。谷地形は急傾斜をなしている。この斜面では現在も浸食作用が続いているため、落石や崩壊が発生する。吉備高原面と新しい谷地形の境界は、急に勾配がきつくなる遷急線をなす。現在の谷地形は今から数十万年前ころからできたといわれている。この年代は、現河川は約 200 万年前から数十万年前に堆積した大阪層群と呼ばれる地層を切っていること、現河川形成に伴ってできた河岸段丘の古いものは数十万年前頃と推測されていることから得られている。

提供者 氏名 鈴木茂之 所属 岡山大学名誉教授